

受験番号	学校教育領域
------	--------

令和8年度

筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 (10月実施)

専門科目

(13:00～15:00)

解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 専門科目の問題用紙の枚数は、問題Ⅰ（共通：英語の文献による出題）が2枚、問題Ⅱ（分野ごとの出題）は〔スクールリーダーシップ開発〕〔保健体育教育〕〔芸術科教育〕が1枚、〔英語教育〕が2枚、問題Ⅲ（分野ごとの出題）は〔スクールリーダーシップ開発〕〔保健体育教育〕〔芸術科教育〕〔英語教育〕がそれぞれ1枚です。
4. 問題Ⅰ（共通：英語の文献による出題）は分野で共通の問題です。志望する分野にかかわらず、必ず解答してください。
5. 問題Ⅱ/Ⅲ（分野ごとの出題）は〔スクールリーダーシップ開発〕〔保健体育教育〕〔芸術科教育〕〔英語教育〕の4分野のうち1つを選択して解答してください。選択する分野は問題ⅡとⅢで同一としてください。
6. 各問題に対応した解答用紙を使って解答してください。また、使用する解答用紙の枚数は、各問題の指示に従ってください。分野ごとの出題については、解答用紙に解答する分野を明示して下さい（例：Ⅱ. スクールリーダーシップ開発分野 問題1）。解答用紙のホチキスは外さないでください。
7. 各問題の指示に従い、日本語または英語で解答してください。

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（Ⅰ．共通：英語の文献による出題）

2枚のうち 1枚目

次の英文の [] で示した空欄に当てはまる最も適切な言葉を2枚目のA～Cの語

(著作権法に基づき削除)

(著作権法に基づき削除)

*lament = 悲嘆, 嘆き

(出典 : Fullan, M. (2015) *The New Meaning of Educational Change, Fifth edition*, New York, NY: Teachers College Press, pp. 123-124. を一部改変)

A 群

- | | | |
|-------------------|------------------|--------------|
| (a) essential | (b) interrelated | (c) similar |
| (d) extent | (e) dilemmas | (f) opposite |
| (g) misunderstood | (h) opinions | |

B 群

- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| (i) for | (j) with | (k) complex |
| (l) learning | (m) practical | (n) decade |
| (o) inhibiting | (p) recent | |

C 群

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| (q) play | (r) examine | (s) sustained |
| (t) disappeared | (u) simplified | (v) overloaded |
| (w) aside | (x) front | |

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（Ⅱ．スクールリーダーシップ開発分野：教育経営に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の問いに日本語で解答しなさい。

問題 1.

文部科学省は2023年3月に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」（COCOLOプラン）を通知し、文部科学大臣からのメッセージと共に発信した。このような不登校対策が講じられるに至る背景について説明すると共に、COCOLOプランに示された「不登校の児童生徒全ての学びの場の確保」「チーム学校による支援」「学校の風土の可視化」の3点に基づいて、不登校対策を進める上での具体的な取り組みと課題を解答用紙1枚以内で論じなさい。

専門科目（Ⅲ．スクールリーダーシップ開発分野：生徒指導に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の問いに日本語で解答しなさい。

問題 2.

児童生徒の学校適応 (school adjustment) について複数の観点から説明しなさい。そして、児童生徒が学校に適応するためには何が重要かについてあなたの考えを解答用紙 1 枚以内で述べなさい。

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（Ⅱ．保健体育教育分野：教科専門に関する問題）

1枚のうち1枚目

以下の問いに日本語で解答しなさい。

問題 1.

練習量と運動パフォーマンスに関する一般的な練習曲線（S字曲線）について説明しなさい。それを踏まえて、新しい運動の学習指導において留意すべきことは何か、体育授業における技能の学習を例として解答用紙1枚以内で具体的に述べなさい。

専門科目（Ⅲ. 保健体育教育分野：教科教育に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の問いに日本語で解答しなさい。

問題 2.

よい体育授業の基礎的条件の一つとして、学習従事時間の確保が挙げられる。学習従事時間を確保するための「構造化されたマネジメント」を実現するためには、どのような方略が考えられるか。体育授業の場面や教師行動に対応させて、解答用紙1枚以内で具体的に説明しなさい。

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（Ⅱ．芸術科教育分野：教科専門に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の問いに日本語で解答しなさい。

問題 1.

芸術鑑賞における解釈の多様性について、具体的な芸術作品を2点挙げて、解答用紙1枚以内で述べなさい。

専門科目（Ⅲ. 芸術科教育分野：教科教育に関する問題）

1枚のうち 1枚目

以下の問いに日本語で解答しなさい。

問題 2.

芸術の学習プロセスにおいて学習者の振り返りを効果的に促すために、どのような方法が考えられ、また、その方法にはどのような難しさがあるのかについて、具体的な実践例、または実践案を挙げながら、あなたの考えを解答用紙1枚以内で述べなさい。

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

専門科目（Ⅱ．英語教育分野：教科専門に関する問題）

2枚のうち 1枚目

以下の問いに日本語または英語で解答しなさい。

Answer the following question in either Japanese or English.

問題 1.

以下の文章を読んで、下線部 “these understudied areas of L2 reading”（第2言語読解に関して十分に研究されていないこれらの領域）とは具体的に何か、その背景も含めながら解答用紙1枚以内で述べなさい。

Read the following passage and explain specifically what the underlined phrase “these understudied areas of L2 reading” refers to, including its background. Write your answer within one page of the answer sheet.

(著作権法に基づき削除)

専門科目（Ⅱ．英語教育分野：教科専門に関する問題）

2枚のうち 2枚目

（著作権法に基づき削除）

出典： Kormos, J. (2025). The role of first language skills, working memory, and anxiety in second language reading: Implications for assessment of language learners with specific learning differences. *Studies in Second Language Acquisition*, 1–23. (pp. 1-2を抜粋)

以下の問いに日本語または英語で解答しなさい。

Answer the following question in either Japanese or English.

問題 2.

現行の学習指導要領における小中高外国語科の目標には「外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動（及びこれらを結び付けた統合的な言語活動）を通して」という部分が共通して含まれている（文部科学省，2017, 2018）。また、『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』（文部科学省，2017）では「外国語活動や外国語科で扱われる活動がすべて言語活動かというところではない」（p. 23）とも書かれている。これらを踏まえ、外国語科で扱われる「言語活動」とはどのようなものであるべきか、具体例を含めて解答用紙1枚以内で述べなさい。

In the Courses of Study for the elementary, junior high, and high school levels (MEXT, 2017, 2018), the objectives of foreign language classes commonly include the phrase: “through language activities of listening, reading, speaking, and writing in a foreign language (as well as integrated language activities that combine these).” Furthermore, the Guidebook for Foreign Language Activities and Foreign Language Classes in Elementary Schools (MEXT, 2017) states: “Not all activities dealt with in foreign language activities and foreign language classes can be considered language activities” (p. 23). In light of these points, describe concretely what kinds of “language activities” should be addressed in foreign language classes, within one page of the answer sheet.

令和8年度入学試験（10月実施）
専門科目（学校教育領域）
解答例（採点基準）・出題意図

専門科目（I. 共通：英語の文献による出題）

問題 次の英文の [] で示した空欄に当てはまる適切な言葉を2枚目のA～Cの語群から選び、記号を答案用紙に書きなさい。

【解答例（採点基準）】

（省略）

【出題意図】

教育に関連する英語の文献を読み解く力を問うため、基本的な英単語に関する知識を問うとともに、英文を読解し意味や文脈を適切に理解できているかどうかを確認する。

専門科目（Ⅱ．スクールリーダーシップ開発分野：教育経営に関する問題）

問題 1.

文部科学省は2023年3月に「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」（COCOLOプラン）を通知し、文部科学大臣からのメッセージと共に発信した。このような不登校対策が講じられるに至る背景について説明すると共に、COCOLOプランに示された「不登校の児童生徒全ての学びの場の確保」「チーム学校による支援」「学校の風土の可視化」の3点に基づいて、不登校対策を進める上での具体的な取り組みと課題を解答用紙1枚以内で論じなさい。

【解答例（採点基準）】

- ・ 不登校の児童生徒数が約 30 万人に急増したことや、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けられていない児童生徒が多数存在することが背景として記述されている。
- ・ 「不登校の児童生徒全ての学びの場の確保」として学びの多様化学校（不登校特例校）や校内教育支援センターの設置促進等の取り組みが記述されており、その課題が論理的に述べられている。
- ・ 「チーム学校による支援」として専門的なスタッフの連携による早期発見・早期支援等の取り組みが記述されており、その課題が論理的に述べられている。
- ・ 「学校の風土の見える化」として、ツールやデータの活用、校則の見直し等の取り組みが記述されており、その課題が論理的に述べられている。

【出題意図】

学校経営に関する専門的事項として、近年の重要課題となっている不登校児童生徒の増加と政策および学校における取組についての知識を問う。また、受験者が大学院において研究する上での文章作成力および情報や考えを整理する力等を有しているかについて確認する。

令和 8 年度(10 月実施) 教育学学位 P(次世代 SP) 入学試験問題

一般入学試験 専門科目(Ⅲ. スクールリーダーシップ開発分野：生徒指導に関する問題)

【問題】

児童生徒の学校適応(school adjustment)について複数の観点から説明しなさい。そして、児童生徒が学校に適応するためには何が重要かについてあなたの考えを述べなさい。

【解答例（採点基準）】

- ・ 学校適応についての先行研究や心理学的知見に基づいて論述されていること及びその論述の質が一定の水準にあること。
- ・ 学校適応について複数の観点から説明がなされていること及びその観点と説明の質が一定の水準にあること。
- ・ 児童生徒の学校適応のためには何が重要であるかについての考察がなされていること及びその考察の質が一定の水準にあること。
- ・ 記述が論理的であるとともに、表現が適切であること。

【出題意図】

学校にとっては、入学してきた児童生徒の学校適応は極めて重要な課題であると考えられる。このような生徒指導上の大きな課題を取り上げた問題を出題することを通じて、問題認識の程度の深さを問うとともに、生徒指導上の課題に関する分析・考察力を問う。また、論述式での回答を通じて、受験者が大学院で研究するうえでの文章構成・執筆能力を確認する。

専門科目（Ⅱ．保健体育教育分野：教科専門に関する問題）

問題 1.

練習量と運動パフォーマンスに関する一般的な練習曲線（S字曲線）について説明しなさい。
それを踏まえて、新しい運動の学習指導において留意すべきことは何か、体育授業における技能の学習を例として具体的に述べなさい。

【解答例（採点基準）】

・練習量と運動パフォーマンスに関する一般的な練習曲線（S字曲線）について、以下の要素を5つ程度含んで説明している。（5観点×7点＝35点）

- ① 練習初期の進歩は小さい
- ② 反復によって次第に進歩率が大きくなる
- ③ 一定の動作が出来上がってくると進歩が停滞する
- ④ ほとんど進歩が見られないプラトー状態になる
- ⑤ プラトーに続く再上昇が繰り返されるうちに技能の低下や悪化が現れ「スランプ」になる
- ⑥ スランプを脱して元の技能状態に戻り、生理的限界に達する

・新しい運動の学習指導において留意すべき点について、学習指導要領の記述を踏まえて記述している。（20点）

- ① 進歩が小さいことを踏まえて運動の課題を細分化すること
- ② 新しい課題を設定しないこと
- ③ 停滞しているときには、異なる課題に取り組ませること
- ④ 運動には取り組む時期によって進歩の速さが異なることを説明する

・体育授業における技能の学習について、具体例を挙げて記述している。（15点）

・上記の内容について、論理的に的確な表現で記述している（5点）

【出題意図】

教科に関する専門的な知識として、子どもの運動技能の向上に向けた指導に関する知識を問う。また、受験者が大学院において研究する上での語彙や文章作成力、および保健体育に関する専門的な情報や考えを整理する力等を有しているかについて確認する。

専門科目（Ⅲ. 保健体育教育分野：教科教育に関する問題）

問題 2.

よい体育授業の基礎的条件の一つとして、学習従事時間の確保が挙げられる。学習従事時間を確保するための「構造化されたマネジメント」を実現するためには、どのような方略が考えられるか。体育授業の場面や教師行動に対応させて具体的に説明しなさい。

【解答例（採点基準）】

・体育授業における「構造化されたマネジメント」について、学習の流れを学習者と共有し、そのための準備を周到に行ったうえで明確な説明や指示のもと実施されるような、授業のマネジメントと説明されている。（10点）

・体育授業における、構造化されたマネジメントを実現させる方略について、以下のような観点を含めて具体的に記述している（35点）

- ① 授業開始：集合しやすい場所の選択、掲示物の用意
- ② 移動・集合：約束事、目標時間の設定
- ③ 用具：用具の管理と準備・片付けの約束事
- ④ 授業の進め方：授業マネージャーの設定、授業の流れの掲示
- ⑤ 学習環境：学習の場の設定、あまり変更しない、安全管理
- ⑥ 相互作用：常軌的行動、約束事と目標時間

・上記の方略について、体育授業の場面や教師行動に対応させて、具体的に記述している。（20点）

・上記の内容について、論理的に的確な表現で記述している（10点）

【出題意図】

教科教育に関する専門的な知識として、楊体育授業を行うための構造化されたマネジメントに関する内容を具体的な事例と関連させて問う。また、受験者が大学院において研究する上での語彙。文章作成力、教科教育に関する情報や考えを整理する力等を有しているかについて確認する。

専門科目（Ⅱ．芸術科教育分野：教科専門に関する問題）

問題 1.

芸術鑑賞における解釈の多様性について、具体的な芸術作品を2点挙げて、解答用紙1枚以内で述べなさい。

【解答例（採点基準）】

- ・ 美術史や美学の視点をふまえ、芸術鑑賞における解釈の概念を適切に記述している。
- ・ 芸術鑑賞における解釈の多様性について、作品や作者、鑑賞者、時代、文化など、複数の視点から論理的に考察している。
- ・ 上記の定義および考察をふまえ、具体的な作品を2点取り上げ、それらの解釈の多様性がどのように体现しているかを的確に論じている。

【出題意図】

教科に関する専門的事項として、芸術鑑賞における解釈の概念についての知識とその多様性について論理的に考察する力を問う。また、受験者が大学院において研究する上での文章作成力および情報や考えを整理する力等を有しているかについて確認する。

専門科目（Ⅲ．芸術科教育分野：教科教育に関する問題）

問題 2.

芸術の学習プロセスにおいて学習者の振り返りを効果的に促すために、どのような方法が考えられ、また、その方法にはどのような難しさがあるのかについて、具体的な実践例、または実践案を挙げながら、あなたの考えを解答用紙1枚以内で述べなさい。

【解答例（採点基準）】

- ・ 芸術の学習プロセスにおける学習者の振り返りについて適切に定義するとともに、芸術教育の特性をふまえた上で、その意義や特徴を的確に説明している。
- ・ 芸術教育において学習者の振り返りを促すための方策を具体的に示し、その方策がもたらす教育的意義や効果を論理的に説明している。
- ・ 実践の過程で生じる課題や困難さについても言及し、それに対する工夫や改善の方向性を、自らの実践経験または具体的な実践事例をもとに示している。

【出題意図】

教科教育に関する専門的事項として、芸術の学習プロセスにおける学習者の振り返りについての知識とそれを実践に結びつけて考察する力を問う。また、受験者が大学院において研究する上での文章作成力および情報や考えを整理する力等を有しているかについて確認する。

専門科目（Ⅱ．英語教育分野：教科専門に関する問題）

問題 1.

以下の文章を読んで、下線部 “these understudied areas of L2 reading”（第2言語読解に関して十分に研究されていないこれらの領域）とは具体的に何か、その背景も含めながら解答用紙1枚以内で述べなさい。

【解答例（採点基準）】

- ・ 第二言語読解への不安と第一言語能力の低さが組み合わさることで、中等教育段階の学習者の読解パフォーマンスにどのように影響するのかという点を記述している。また、その背景として、第一言語における読み書き能力の低さは特異的学習困難の原因として知られており、そのような特性を持つ学習者は第二言語学習にも不安を抱きがちであることや、これらの要素の複雑な関係は多構成要素的な見方の中で理解されるものであることを記述している。
- ・ 特異的学習困難を持つ学習者に対して、試験時間の追加を行うことが第二言語による読解テストの得点向上や不安減少に結び付くのかという点を記述している。また、その背景として、第二言語読解においては、特異的学習困難を持つ学習者はテキスト処理の遅さを補うために試験時間延長の措置を行ってもらうことがしばしばあるが、そのような時間延長の利益に関する科学的なエビデンスは不足していることを記述している。

【出題意図】

教科の専門的事項に関する英文を理解する力を問うとともに、リーディング能力や読み書きに関する学習困難についての知識を問う。また、受験者が大学院において研究する上での文章作成力および情報や考えを整理する力等を有しているかについて確認する。

専門科目（Ⅲ. 英語教育分野：教科教育に関する問題）

問題 2.

現行の学習指導要領における小中高外国語科の目標には「外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動（及びこれらを結び付けた統合的な言語活動）を通して」という部分が共通して含まれている（文部科学省，2017, 2018）。また、『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』（文部科学省，2017）では「外国語活動や外国語科で扱われる活動がすべて言語活動かということそうではない」（p. 23）とも書かれている。これらを踏まえ、外国語科で扱われる「言語活動」とはどのようなものであるべきか、具体例を含めて解答用紙1枚以内で述べなさい。

【解答例（採点基準）】

- ・ 決められた表現を用いた単なる反復練習のようなやり取りではなく、伝え合う目的や必然性のある場面でのコミュニケーションがあること
- ・ 児童生徒が本当に伝えたい内容を話したり、相手の話す内容を聞いたりすることができる場面を設定したり、目的や使用場面を意識して活動を行うことができるような具体的な課題等を設定していること
- ・ 児童生徒にとって身近で具体的な場面設定の中で行い、「誰に」、「何のために」という、「相手意識」や「目的意識」をもって、質問したり答えたりする必然性のある活動
- ・ 児童生徒が進んでコミュニケーションを図りたいと思うような、興味・関心のある題材を扱っていたり、自己理解・他者理解を深め、コミュニケーションの楽しさを実感できる活動
- ・ 上記について言及しており、それに基づく活動の具体例を適切に述べている。

【出題意図】

教科教育に関する専門的事項として、外国語科における言語活動の定義や意義、その指導に関する知識を問う。また、受験者が大学院において研究する上での文章作成力および情報や考えを整理する力等を有しているかについて確認する。